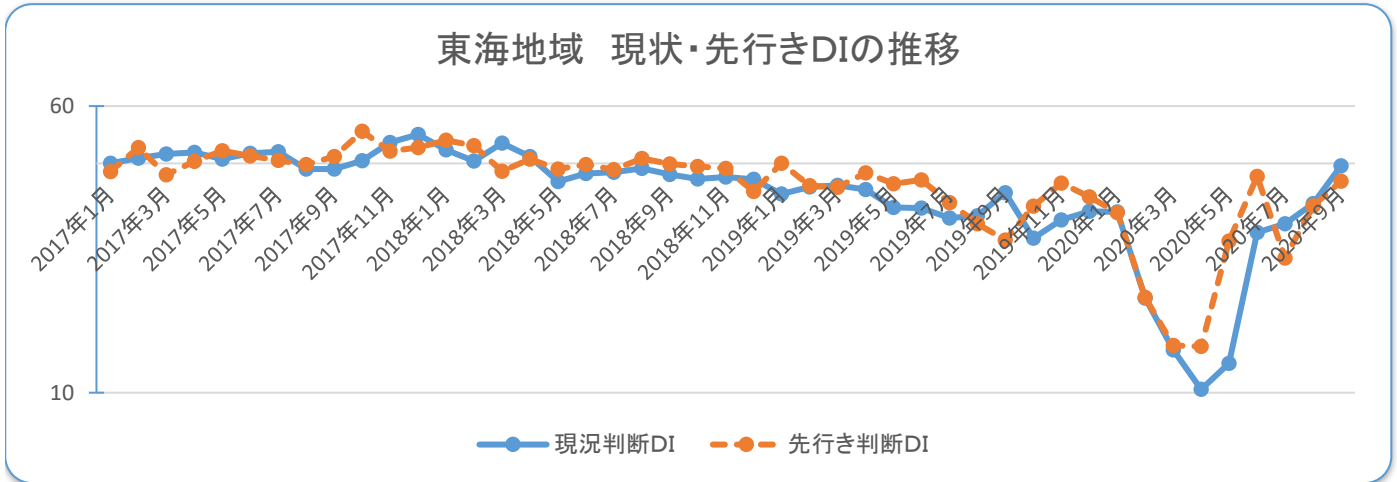


東海地域 現状・先行きDIの推移



◆東海地方 2020年9月 景気判断理由 一部抜粋

	分野	判断	判断の理由、追加説明及び具体的状況の説明、回答者属性
現状	家計動向関連	やや良	《来客数の動き》比較が3か月前なので、それよりは良くなっている。しかし、減速感があり、今後の期待感は持てない。Go Toキャンペーンもまだまだ活用されていない。【旅行代理店（経営者）】
		不変	《販売量の動き》介護リフォームの受注件数が低迷している。新型コロナウイルス第1波の頃の資材調達遅れによる要因とは異なり、客の発注決断が慎重になっている。【その他サービス【介護サービス】（職員）】
		やや悪	《販売量の動き》新型コロナウイルスの感染状況が売上、来客数に影響する。年末に掛けて不透明な状況であるため、景気は下向きではないかと考える。【コンビニ（店長）】
	企業動向関連	やや良	《取引先の様子》新型コロナウイルス禍で生産量の落ち込んだ取引先が、やっと上向き始めたので、全体として若干景気が上向いてきた。【窯業・土石製品製造業（社員）】
		不変	《受注量や販売量の動き》販売量が減少している。価格は引き続き交渉を受けるケースが多い。【金属製品製造業（経営者）】
		やや悪	《その他》当業種での影響はそれほどでもないが、製造業では新型コロナウイルスの影響で休業、出勤日数の調整がみられる。パート社員には時間調整があるという話を数人から聞くので、やや悪くなっている。【建設業（営業担当）】
	雇用関連	やや悪	《求人数の動き》少しずつ街のにぎわいも戻ってきており、回復傾向にあるように思われる。それに伴って求人活動を始めるところも出始めている。【新聞社【求人広告】（営業担当）】
		不変	《求人数の動き》求人に関しては、底を脱した感があり徐々に回復しつつあるが、前年比ではいまだ大幅に下回っていて、業種・職種による偏りが大きい。【人材派遣会社（営業担当）】
		やや悪	《採用者数の動き》徐々に求人依頼数は増加してきているが、採用要件や求める要素などは引き続き限定的となっているため、採用数自体の伸びが見られない状態である。【民間職業紹介機関（営業担当）】
先行き	分野	判断	先行きに対する判断理由、回答者属性
	家計動向関連	やや良	支出割合への食費の影響がかなり大きいため、年末に向けては回復傾向に向かう。来客数は変わらず、単価が上がる見込みである。【スーパー（店長）】
		不変	若者は新型コロナウイルスを気にしている様子はないが、年配者は気にしている人が多いため、この状況がまだ続くと思われる。【美容室（経営者）】
		やや悪	来月で現状抱えている案件は全て終了する予定のため、仕事量は減少する。【設計事務所（経営者）】
	企業動向関連	やや良	商業貨物は減っている。発送、到着共に減少しており単価も下落傾向である。【輸送業（エリア担当）】
		不変	景気は上向き傾向であるが、新型コロナウイルスの影響を加味した場合のリスクに備えて、思い切った行動はできない。これからどのように事業を進めるか、リスクも考えた販売戦略であり、皆悩んでいる。【金融業（従業員）】
		やや悪	受注数、販売数が軒並み減少している。回復を見込める様子がない。【食品製造業（営業担当）】
	雇用関連	やや良	街の人の出方が大分変わってきた。働き方の変化についても、一時のぎではなく、この状態を前提とした再構築が進みつつある。【民間職業紹介機関（支社長）】
		不変	潜在的な求人ニーズはあるが状況を静観している企業が多く、今後もその状況は変わらないと考えられる。【職業安定所（次長）】
やや悪		新型コロナウイルスの影響により先行き不透明感が強く、企業の積極的な求人活動が期待できないと考える。【職業安定所（次長）】	